

## 前回(令和3年度第2回)委員会での議事概要と道教育委員会及び文化庁指導事項への対応

### (1)第2回委員会議事概要

#### ■北海道特有の制度である駅通所制度と広い視野での島松の位置づけを伝える

- ・ 北海道の文化的価値を伝えるということがこの史跡が担っていると思う。当時、北海道開拓期の社会の特有のシステムがあったということを伝えたい。
- ・ 4章の図で丸が3つある。この一番左の部分が今は島松の限定的な場所のことに着目している表現になっているが、もう少し広域の、制度というか、駅通所ということが北海道の中でどのようなものだったのか、といった位置づけも入れていただけると分かりやすくなるのではないか。
- ・ 全道的な視点での島松駅通所の意義が見えにくい。
- ・ 駅通制度を考える上でなぜ島松だったのかということ。河川地域でのことだけでなく、もっと広い視野での島松の位置付けが見られると良い。

⇒P71において、広域での視点の整理のため、石狩邸湿地帯について整理した(合わせてP76の図の文言も整理)。また、千歳越や札幌越新道についても具体的に再整理した。

#### ■駅通所の連携

- ・ 基本方針の中で「連携」という言葉書かれており、今現在残っている駅通所や文化財となっているものの展示をすることや、道内全体の駅通所のサミット、イベントにつなげるなども可能性とあるのではないかと思っている。

⇒前回からP70やP88、P97において他駅通所との連携や展示での紹介について記載。

#### ■資料の保管に関する懸念事項

- ・ 建物の耐震補強にあたり補強財が結構入るとのことだが、部材によってはアンモニアが出てくるなど、文化財に有害なものが出ることもある。今後の詳細の検討の中では、博物館資料として保管されるものについては、どういう材料を使うのかなど整理されると良い。
- ・ 温湿度管理が重要で、断熱が高ければ史料の状態をよく維持できる。変化が少ないような環境にしていくことが大事。何を展示するかということにも関わってくるし、ここにどれだけ保存するかにもよる。
- ・ 断熱改修は建物の周りをすっぽり包まないと、一部から水蒸気が入り込んで、建築自体を傷めてしまうこともある。部分的に強い改修をしない方が安心である。
- ・ 内側にもう一層コンテナなようなものを入れるなど、展示物の保存にはボックス的なものを設置することも考えられるか。

⇒今後の詳細の設計において、具体的に検討する。

#### ■各諸要素の改修・復元(復原)履歴の整理

- ・ 「あったらしい」のか、「あった」のか、要素によって元々のものなのか、復元なのか、今一度整理が必要である。
- ・ 蓮池やどの年代を目指すのか。水田や暖水路は年代と場所が分からないのであれば、それをしっかり

と伝える必要がある。

- ・ 正確にその時代にあったかは分からないものについては、明記をした方が良い。
- ・ 諸要素の一覧があるが、設置された年代が入ると分かりやすいのではないか。  
⇒P39において「史跡の構成要素の概要表」を整理した。
- ⇒P79、80、83において、井戸、蓮池、見本田、暖水路の文章を再整理した。

#### ■史跡指定地の隣接地について

- ・ 隣接地の元々の土地の所有について、前の名義は中山さんなのか。元々所有している人が中山さんだったら、駅通所当時、隣接地も中山さんが使用していた可能性が高く、史跡外でも意味がある。
- ・ 史跡と隣接地の境にある並木は、史跡になった後に民有地との境目をつけるために植えたのであれば歴史的に価値はない。
- ・ 元々全体的に中山さんが使っていた土地なのであれば、樹木は必要なくあえて区切る必要があるのかという考えになってくる。  
⇒可能な範囲で史跡周辺の土地所有の歴史を確認するとともに、見学の際には史跡ラインが来場者に伝わりやすいということもあるので、検討する。

### (2)道教育委員会及び文化庁調査官指導事項

#### ■基本方針について

- ・ 展示の仕組みづくりは、「展示の整備」でもいいのでは。具体的に記載できるものは書き方を整理すると良い。
- ・ 決定的な言い方をしない方がいい場合は表現はお任せする。  
⇒P75において明確に記載できるものについては、文言を再整理した。

#### ■今後の事業スケジュールについて

- ・ 今記載してあることを実施するための事業計画の内容について、実施設計や基本計画が史跡のどこの部分のことなのか、いつどこの取組をするのか、実際どのようにやるのかがわからないので、詰めた方がいい。
- ・ 動線や工事の順番で建物全体の見学に入れなくなってしまう時期をなくすなど、実施時期を検討した方が良い。
- ・ 文化財サイドで事業計画を作って建築サイドの方に見せると、工程的に全然できないということもある。財政の部局とも内容を相談して詰めてほしい。  
⇒P102～P103において事業スケジュールをエリアごと、諸要素ごとに具体的に整理した。

#### ■井戸や蓮池の修復などについて

- ・ 井戸や蓮池などの修繕や修復について記載している部分があるが、現在あるこれらのものはオリジナルなのかということも重要。
- ・ どのように復元して、今後どのような保存活用をしたいから、こうするという追記があると良い。情報をもう少し収集して、例えば蓮池はこのように復元して、どのように活用して、今後こうしたいか

ら、このような整備をするという整理が必要である。

- ・ 井戸の話についても同じで、どこが復元でどこが大切な部分なのか、具体的な書き方を整理した方が良いのではないか。

⇒P39において「史跡の構成要素の概要表」を整理した。

⇒P79、80、83において、井戸、蓮池、見本田、暖水路の文章を再整理した。

#### ■整備後の維持管理について

- ・ 整備後の維持管理においてはどのように考えているか。現在の「15管理・運営に関する計画」には基本体制構築以外はあまり書かれていない。
- ・ 基本は直営だと思うが、整備が終わったらどのように維持管理（予算や内容など）していくのか、草刈り、水管理、構成要素のモニタリングなどをどうするのか、次の35年後についても想定しておく必要があると思う。

⇒P100において、整備後の維持管理について整理した。